

大谷中学校だより No.12



URL <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/NC2/> 平成27年11月30日発行 文責：藤谷

生徒の力

校長 濱 育代

10月～11月にかけて、いくつかの県のへき地校や複式校、小規模校の実践研究発表会に参加する機会がありました。どの学校も、県庁所在地から車で3～4時間という遠距離にあり、山間部・海辺・離島など過疎化の波に直撃されている学校が大部分でした。しかし、そこで展開されている教育は「教育の原点」とも言うべき素晴らしい実践ばかりでした。「小規模校の利点を生かした確かな学力の定着」「ふるさとに誇りを持ち、心豊かに学ぶ生徒の育成」「小中一貫校の特性を最大限に出し切る学校運営」……どの学校も学校目標にむかって、教職員が一丸となって取り組んでいました。地域の学校に対する想いを受け取り、地域の教育力を最大限に生かした連携の取り組みが展開されていました。保護者の皆様方の協働の力が、学校を後押ししている実践が多く報告されました。昨年度の県PTA地区別大会で、西部小学校が発信した「PTCC」の姿が、多くの学校で展開されていました。

「小規模校では、コミュニケーションの力が弱い」「将来、大きな集団の中に入ると自分を出し切れず、埋没してしまう」「切磋琢磨できないので学力が心配」「多様な意見に接することが少ない」などの声を聞くことがあります。確かに何も手を打たなければ危惧する部分です。しかし、学校目標や学校研究は、その危惧される部分を改善し、力に変えていくために実践を積み上げているのです。本校でも、生徒の実態を出発点として、多くの研究がなされています。

本校は、今年度、年間を通して「金沢大学人間社会学域学校教育学類の学校指導アドバイザー派遣事業」の指定を受け、加藤准教授と連携をとりながら、校内研究をおこなっています。毎月授業を公開し、動画や写真や音声で分析をおこない、データで生徒の変容を確認しています。11月の2年生理科の研究授業の後、加藤准教授より、生徒の発言力やその質の変容に対してお褒めの言葉をたくさんいただきました。学力の定着にも確実なものがあります。日々の中ではなかなか気づきにくい点も、外部の目やデータで見ると変容をキャッチすることができます。生徒たちは、教職員の様々な取り組みを受け、危惧される部分から変化していつているのです。

文化祭での40分間の堂々とした大きな声での劇を、どう思われましたか。生徒が主体的に発表する「朝の放送」も、3文が5文に、そして今では7文を原稿無しで発表しています。そんな生徒の力を、もっともっと褒めてやり「僕らも満更でもないかもしれない」という自己肯定感を持たせてやることも必要です。日本人は「褒め下手」と言われています。もっともっと生徒を褒めて、それを伸びる力のエネルギーにしてあげましょう。私も白山麓のへき地に認定されていた山間の村で育ちました。当時も「山の子は、町の子に比べて、話す力が弱い」「学力が低い」と言われ、生徒も一緒に、学校一丸となって奮起したことを覚えています。小さな学校は一丸になる力が強いです。地域の後押し力が強いです。そして何より「生徒の力」が伸びやすい環境下にあります。この「16名の生徒の未来のために」私も、「今以上に」と感じた11月でした。生徒の力には、まだまだたくさんの「伸びしろ」があるのですから。

教弘ミニコンサート「青島広志先生とオーケストラ・アンサンブルメンバーが西部・大谷中にやってきた！！」

大谷中学校の教育方針の一つに「本物に学ぶ」「町の先生に学ぶ」があります。その方策として、総合的な学習の時間などでは、この地域で活躍されている多くの町の先生方と学習交流をおこなっています。今回は音楽でも、この「本物に学ぶ」を実施してみました。

金沢などの中学生は、新聞でもよく話題になっていますように「スクールコンサート」や「オーケストラ学校訪問」……などで、実際にコンサートホールに出かけたり、オーケストラの楽器を間近で見る経験はたくさんセットされています。しかし、遠方の大谷中の生徒たちは、音楽鑑賞の時間であってもDVD等で「見るか聴くか」が精一杯です。いつも「金沢の生徒たちのように、プロの生演奏を同じ空間で、聴かせてやりたい」と願っていました。そこで、自分たちが行けないのなら、本物の方にやって来てもらおうと考えたのが今回の企画です。(公財)日本教育公務員弘済会石川支部さんにご支援・ご協力を頂きました。

「ラ・フォル・ジュルネ金沢」や「ゆかいなコンサート」「世界一受けたい授業」「たけしの誰でもピカソ」等々、「テレビでもお馴染みの青島広志先生が、生徒たちと一緒に歌っている。手塚治虫氏の火の鳥を作曲したあの青島先生が、手を伸ばせば触れられる所で、生のピアノを弾いている」と思うだけで感動の1時間でした。

また、アメリカ出身の第1バイオリン奏者「トロイ・グーギンス」さん・第2バイオリン奏者「原三千代」さん・ヴィオラ奏者「古宮山 由里」さん・そして韓国出身のチェロ演奏者「ソンジュン・キム」さんという蒼々たるメンバーの生の演奏も、間近で聴くことができました。生徒たちの感想文にもありますように、青島先生のトークに引き込まれ、テナー歌手の小野勉さんのボリュームある歌声に、圧倒される驚きの連続の時間でした。

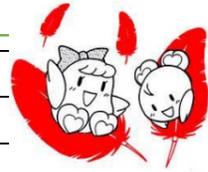
青島先生が、弦楽四重奏にアレンジして下さった西部小学校校歌・大谷中学校校歌はとても深みのある曲に生まれ変わっていました。合わせて歌った児童・生徒の歌声は、音色の違いなのか、いつもより柔らかく響きのある歌声に変わっていました。小野さんと一緒に歌った「さんぼ」「手のひらを太陽に」は、どの子どもどの子も大きな声と踊りで、のりのりでした。青島先生が「エリーゼのために」をピアノで弾きはじめると、会場はシーンと静まりかえりました。そんな素敵な時間でした。

地域の皆様方も58名来校して下さいました。100名以上で、体育館はいっぱいでしたが、どの方の顔も笑顔であふれていました。帰りがけに「来てよかったわ。感動しました」「生徒たちだけでなく、我々も、こんなに身近にプロの演奏が聴けて良かった」「本物に学ぶって、いい教育方針ですね」と、地域の方からもたくさんの感想のお声をかけて頂きました。ありがとうございました。

大谷中学校は、「本物に学ぶ」をこれからも大切にしていきたいと思います。



| 12月行事予定 | | | 赤い羽根募金 文化祭などで募金活動した額が7686円でした。ご協力ありがとうございました。 |
|---------|---|----------------|--|
| 1日 | 火 | 安全点検 | |
| 2日 | 水 | 生徒会委員会 | |
| 3日 | 木 | 期末テスト | |
| 4日 | 金 | 期末テスト | |
| 8日 | 火 | 伝統文化鑑賞 (和太鼓) | |
| 9日 | 水 | 2.年評価問題 | |
| 15日 | 火 | スプール (読み聞かせ) | |
| 21日 | 月 | GETCテスト | |
| 22日 | 火 | 総合的な学習発表・通知表渡し | |
| 23日 | 水 | 天皇誕生日 | |
| 24日 | 木 | 終業式 スペコン | |
| 26日 | 土 | 引っ越し作業 8:30~ | |



宝立町 高枝果樹園様から給食にりんごいただきましたありがとうございます。



盛り上がった文化祭!

テーマ「最高の仲間たちと最高の舞台へ～掘り出せ自分の隠れた力を～」のもとに全校生徒が大活躍してくれました。生徒会執行部でのオープニングとエンディングの演出、意見発表や演劇班の「戦争を知らない子どもたち」、ステージ画だけでなく、みんなで楽しんだイベント班による企画など一人一人がきちんと準備し、練習を行ってきた成果が示されたと思っています。また、小中合同でのよさこいソーランもかっこよかったですよ。

二学期後半の学校生活も、文化祭を盛り上げたパワーで持っている力をさらに発揮して頑張りましょう。

保護者の皆さんPTA合唱お疲れさまでした。



よさこいソーラン『どっこいしょ』迫力満点でした 地区文化祭では青年団と踊りました



意見発表「読書感想文」兄弟のような犬



ランプシェード 美術での作品きれいです



お年寄りの皆さん ありがとうございます。プレゼントを渡し握手をしました。



全校生による合唱



波の花デイスサービスの皆さん



3年「なんでもねだり」楽しくて面白いですね



生徒会のオープニング



息の合った祭り太鼓 さすがですね



劇「戦争を知らない子どもたち」吉岡君、吉田君の名演技 よかったですよ!!



力強い ソーラン節ですね



意見発表「組体操皆で協力してできました」



イベント委員会 ダンス披露